

人とのかかわりを通して子どもの心を育てたい

大切なのは、人と人とのふれあい

核家族化、少子化が進み、私たちを取りまく環境も大きく変わってきました。子ども同士(特に年齢の異なる子ども)と一緒に遊ぶことが少なくなったり、祖父母との3世代同居家族が減って、「生活の知恵」を伝えることが難しくなったりしています。人とのかかわりが少なくなる一方で、テレビや新聞・雑誌などのマスメディアが発達し、たくさんの情報を手軽に手に入れることができますが、あまりの多さに消化不良を起こすことも少なくありません。社会は大きく変化していますが、「こどもの城」では、スタッフや幅広い年齢層のボランティアが力を併せて、人と人とのふれあいを大切に「子育て支援」などのプログラムに取り組んでいます。

親も子どももリラックスできる環境で、人との交流する機会を



孤立しがちなお母さんたちにとって、気軽に相談できたり、話を聞いてもらえたりすることが大きな支えになります。いろいろな情報が、さまざまなメディアを通して手に入りますが、やはり「人のぬくもり」は、大きな安心につながります。

“おしゃべり”で心配事もすっきり解消

初めての子どもは何かと心配なもの。「赤ちゃんサロン」(毎月第2・4火曜日)は、同じ年ごろの赤ちゃんを持つお母さんたちの「集いの場」。子どもの成長や健康のこと、自分自身のことなどと同じ年齢(月齢)の子どもを持つ人たちと自由におしゃべり。自由なおしゃべりを通して、不安やストレスを解消したり、新しい情報を手に入れられます。小児科医、栄養士、保健師、臨床心理士など「子育て」の専門家がそばにいますので、適切なアドバイスを得ることができます。ちょっとした相談にもつてくれます。

親子・家族プログラムを大切に

保育研究開発部では、子育てをお手伝いする「親子教室」(1歳児の親子)、「保育クラブ」(3~5歳)、異年齢混合保育の「幼児グループ」(4~5歳)などのプログラムを行っています。親子や子ども同士のつながりだけでなく、親同士、家族同士のコミュニケーションを大切に活動。今年1月には、「幼児グループ」「保育クラブ」のお父さん、お母さんとスタッフが協力して「保育フェア」の大イベントを開催。たくさんの人と「ふれあい」機会を作りました。

大変なときには、思いきって人に助けを求めていいんですよ



小児保健クリニック
臨床心理士
井口由子さん

最近のお父さんお母さんは、子どもの様子を見ながら、一般的な仲や形にはあてず、そこに当てはまらない不安になったり自信を失ったりしがちです。親もリラックスして、ボール遊び、水遊び、まごころなどを一緒に楽しみ、子どもの感じていることがつかめるといいですね。それでも、育児が不安で大変なときには、身近な信頼できる人に相談することも大事です。人は人を通していやされたり、人とのつながりの中で成長していくものです。



私たちも、こうやってみんなに見守られて育ってきたんだね

少子化が進み、兄弟姉妹の少ない子どもたちが増えています。さまざまなことを学び合う「身近な他人」がいなくなっているのです。保育研究開発部では、夏休みなどを利用して、小・中学生と幼児のふれあいの場を設けています。「幼児グループ」「保育クラブ」を卒業した小・中学生が保育ボランティアとして、幼児の世話をしたり、遊び相手になったりしています。



親子でいっしょに遊びを体験する機会を

平日の「こどもの城」には、親子で楽しめるプログラムがいっぱい。さまざまな年齢のボランティアも活動しているので、プログラムとの出会いのほかにもさまざまな人との出会いも体験できます。また、親子で同じ遊びを体験すれば、共通の話題も生まれます。

平日は、親子で楽しむプログラムがいっぱい



みんなでライブ(火曜・音楽ロビー)



造形スタジオ



おりがみあそび広場(楽楽・プレイホール)

「こどもの城」の造形スタジオ、プレイホール、音楽ロビー、AVライブラリーなどの「こども活動エリア」では、親子と一緒にリラックスして楽しめる「遊び」がいっぱいです。子どもを遊ばせるのではなく、親子で一緒に遊べば、自然と「ふれあい」が生まれます。スタッフやボランティアのお父さん、お母さんと一緒に遊んでくれます。



プレイ教室長
小川龍男さん

人との関係の中で、自分だけがええの存在、と感じる体験を

人は、自分がほかの人に必要とされ、またそれに応えられたときに「自分はかけがえのない存在なんだ」と感じ、自尊心が生まれ、成長発達することができます。家族の中でも、遊びグループでの活動の中でも、みんなから助けられたり、存在を認めてもらったり、愛されたり、というだけでなく、涙かゆまじりなり、嬉しかったり、役に立ちたいという機会がたくさんあります。さまざまな場面で、立場や役割を交代しながら、お互いが生かされる人間関係は、子どもの成長発達に不可欠のことのできない大切な要素なのです。